

エコアクション21

環境活動レポート

2009年版

(2009.04~2009.10)



やまがたスポーツパーク株式会社

承認者	承認日	承認印
経営者	平成21年 月 日	
環境管理責任者	平成21年 月 日	

目 次

1. 会社概要.....	2
2. 環境方針.....	3
3. 環境目標とその実績.....	4
3. 1 環境目標.....	4
3. 2 環境実績.....	5
4. 環境活動計画.....	6
4. 1 環境必須項目.....	6
4. 2 その他環境活動計画.....	7
5. 環境活動の取組み結果の評価.....	8
5. 1 必須環境負荷項目の目標と評価(2009年10月).....	8
5. 2 その他の環境目標と実績評価.....	9
6. 環境関連法規の違反、訴訟等の有無.....	11
7. 社会的取組み.....	11

1. 会社概要

(1) 事業所名及び代表者名

事業所名 やまがたスポーツパーク株式会社

代表者名 代表取締役社長 伊藤 修二

(2) 所在地

山形県天童市山王1-1

(3) 環境管理責任者及び担当者の氏名と連絡先

環境管理責任者 常務執行役 真壁 信政

環境管理担当者 緑地管理課長 枝松 吉男

連絡先 電話 (023) 655-5900 FAX (023)655-5907

(4) 事業内容

- ① スポーツ振興事業と健康増進事業
- ② 公園及び運動施設の管理・運営事業
- ③ 公園及び運動施設の利用促進と緑化推進事業
- ④ 前各号に付帯関連する一切の業務

(5) 事業の規模

① 資本金 1,000万円

② 創業 平成19年12月7日

③ 従業員数 25名

④ 指定管理公園 床面積 72,103.26m²

(3公園面積計) 公園面積 153.8ha

⑤ 前年度売上高 0円

(参考：前組織 (財)山形県総合運動都市公園公社 572百万円)

⑥ 年間利用者数 1,069,874人(平成20年度)

(山形県総合運動公園 850,007人 西蔵王公園 202,000人 悠創の丘 17,867人)

2. 環境方針

やまがたスポーツパーク株式会社 環 境 方 針

1 基本理念

当社は都市公園の管理をとおしてスポーツ振興と健康づくりをテーマに、山形県総合運動公園、西蔵王公園および悠創の丘の3公園を「日本一愛される公園」にすることを目標に企業活動を行います。

そのためには地球環境の保全が人類共通の最重要課題であることを強く認識し、「日本一愛される都市公園」を目指す最優先事項として、地球環境の保全を目指すためにエコアクション21環境マネジメントシステムを導入し、環境負荷削減のための継続的な取り組みを推進していきます。環境負荷削減のためには、地球温暖化防止と循環型社会の構築が重要であり、事業活動を通じて省資源、省エネルギー、地域社会への貢献などに配慮して進めていきます。

2 行動指針

当社は、あらゆる事業活動が環境に何らかの影響を与えていることを認識し、以下の行動指針のもとに環境へ取り組みます。

① 施設の管理やイベント開催において、環境保全（省エネルギー・省資源・節水・ゴミの減量化など）に努めます。

特に下記の2点を重点テーマとして取り組みます。

- ・ 電力・ガス・水の消費や廃棄物の排出状況等をチェックし、環境への負荷を把握し特にCO₂・排水量・廃棄物の抑制には目標値を設定し、管理に努めます。
- ・ 資材は、グリーン購入と山形県リサイクル製品認定制度で認定された製品の購入に努めます。

② 環境関連法規を遵守し、一層の環境保全に努めます。

③ 地域社会の環境保全活動に参加するとともに、公園内での活動には積極的に支援していきます。

④ 全社員・業務委託先従業員に環境方針の周知と環境に対する意識の向上を図るため広報活動を行うとともに、公園利用者に対しても館内掲示やホームページへの掲載によりご理解とご協力をお願いします。

平成21年 6月 1日

やまがたスポーツパーク株式会社
代表取締役 伊藤 修二

3. 環境目標とその実績

3. 1 環境目標

(1) 環境負荷低減目標

当社は公園施設の管理運営業であるため、利用者及び設置者の理解も求めながら段階的に環境負荷の低減に取り組む必要がある。そのため過去3年間の実績を踏まえ、初年度の今年度は、以下の現実的な目標設定をした。

2008年度実績を基準に2009年度目標を、総エネルギー投入量と二酸化炭素排出量は1.0%削減、2010年度目標を前年度の1.0%削減、廃棄物排出量は2009年度目標を一般廃棄物については5%削減、産業廃棄物についても同じく5%削減とし、2010年度目標を、前年度の3%削減、水資源投入量は2009年度削減目標を1.0%とし、2010年度目標を前年度の1%削減、総排水量（下水道）は2009年度目標を3%削減、2010年度も前年度の3%削減とした。

項目	単位	2009年10月目標	2010年3月目標	2010年度目標
総エネルギー投入量	MJ	26,657,234	50,236,466	49,734,101
売上高あたり	MJ/百万円	43,345	81,685	80,868
二酸化炭素排出量	Kg-CO ₂	1,245,960	2,480,263	2,455,460
売上高あたり	Kg-CO ₂ /百万円	2,026	4,033	3,993
一般廃棄物排出量	Kg	12,356	22,836	21,694
売上高あたり	Kg-CO ₂ /百万円	20	37	35
産業廃棄物排出量	Kg	0	1,164	1,129
売上高あたり	Kg-CO ₂ /百万円	0	2	2
廃棄物等総排出量	Kg	12,356	24,000	23,280
売上高あたり	Kg/百万円	20	39	38
水資源投入量	m ³	113,579	163,748	162,111
売上高あたり	m ³ /百万円	185	266	263
総排水量（下水道）	m ³	58,209	107,939	104,701
売上高あたり	m ³ /百万円	95	176	171

(2) その他の環境目標

項目	単位	2009年10月目標	2010年3月目標	2010年度目標
グリーン購入	実施率 (%)	50	55	60
事業活動のインプットに関する取組み	実施率 (%)	70	75	80
事業活動のアウトプットに関する取組み	実施率 (%)	70	75	80

環境経営システムに関する取組み	実施率 (%)	70	75	80
-----------------	---------	----	----	----

(3) 当社に該当しない環境負荷項目

・総物質

当社は公園施設の管理運営業であるため、製品の生産活動は行っておらず、原材料の使用はありません。

・製品生産量

当社は公園施設の管理運営業であるため、製品の生産はありません。

・水質汚濁物質

当社は公園施設の管理運営業であるため、使用する水はプール用水や清掃用水等であり、使用後は下水道に流入するため、水質汚濁物質の発生はありません。

3. 2 環境実績

(1) 環境必須項目実績

項目	単位	2009年(4月～10月)	備考
総エネルギー投入量	MJ	26,601,304	
売上高あたり	MJ/百万円	43,254	
二酸化炭素排出量	Kg-CO ₂	1,245,960	
売上高あたり	Kg-CO ₂ /百万円	2,025	
一般廃棄物排出量	Kg	6,051	
売上高あたり	Kg-CO ₂ /百万円	10	
産業廃棄物排出量	Kg	0	
売上高あたり	Kg-CO ₂ /百万円	0	
廃棄物等総排出量	Kg	6,051	
売上高あたり	Kg/百万円	10	
水資源投入量	m ³	110,722	
売上高あたり	m ³ /百万円	180	
総排水量(下水道)	m ³	52,000	
売上高あたり	m ³ /百万円	85	

注) 2009年度の売上高が確定していないため暫定的に2008年度の数字を採用している。

(2) その他の環境項目

項目	単位	2009年(4月～10月)	備考
グリーン購入	実施率 (%)	46	
事業活動のインプットに関する取組み	実施率 (%)	65	
事業活動のアウトプットに関する取組み	実施率 (%)	74	
環境経営システムに関する取組み	実施率 (%)	72	

4. 環境活動計画

当社の主要な環境保全に向けた具体的な取組みを以下に示す。

4. 1 環境必須項目

(1) 総エネルギー投入量、二酸化炭素排出量の削減

これらの削減のための活動は重なることが多いため、以下にまとめて記す。

① 電気使用量の削減

- ・ 高効率蛍光灯、インバーター照明、液晶モニターなどの照明機器の省エネルギー化に向けて進める。公園灯を照度はほぼ同水準で消費電力の少ない灯具と安定器に交換する。
- ・ 三位一体（利用者・管理者・設置者）の協力による削減意識の高揚
- ・ 不要箇所・不要時間の照明の消灯
- ・ PC を省エネモードに設定する。
- ・ 長時間席を離れる場合には PC 電源 OFF
- ・ エアコンフィルターの清掃

② 化石燃料使用量の削減

- ・ 利用状況に応じた設備の運転（設定温度をエリアごとに設定）
暖房の目安温度はアリーナ・柔剣道場 25℃、会議室 24℃、廊下 20℃、事務所 22℃、
冷房の目安温度は事務所・事務所以外ともに 28℃に設定。
- ・ エコドライブの実践
- ・ 始業点検の実施（空気圧・オイルの汚れ等）
- ・ 室内プールの濾過装置の交互運転
- ・ 作業機械の適正運転

(2) 廃棄物等総排出量、廃棄物最終処分量の削減

- ① イベント主催者に再利用資材等の使用と 3R 処理への協力依頼
- ② 紙使用の適正化

- ・ コピー枚数の最少化
- ・ OA 紙の裏紙使用・縮小コピー
- ・ サイボーズによる社内回覧等ペーパーレス化の徹底
- ③ 廃棄物保管場所の徹底
- ④ マニフェスト・契約書類の管理
- ⑤ 発生状況の現状把握と 3R 処理への対応

(3) 水資源投入量、総排水量の削減

- ① 洗体シャワーの自動化へ改善
- ② 手洗い時の節水（掲示による啓蒙活動）
- ③ 漏水の発見と対応
- ④ 植物管理への適正散水

4. 2 その他環境活動計画

(1) 化学物質使用量の削減

- ① 緑地管理に使用する農薬の適正利用

(2) グリーン購入の推進

- ① 再生紙の使用拡大（コピー用紙、名刺など）
- ② エコマーク文房具の購入拡大
- ③ 備品・家電品のグリーン商品購入の拡大

5. 環境活動の取組み結果の評価

5. 1 必須環境負荷項目の目標と評価(2009年10月)

(1) 総エネルギーと投入量、二酸化炭素排出量

当初から高い目標の設定よりも現状把握から始めて現実的な目標の設定をして開始したもので両項目ともほぼ目標を達成した。いずれにしても環境活動計画に沿って社員を中心に趣旨が徐々に浸透した結果と考えられる。

項目	単位	目標	実績	実績/目標	評価
総エネルギー投入量	MJ	26,657,234	26,601,304	99.8%	+0.2
売上高あたり	MJ/百万円	43,345	43,254	99.8%	+0.2
二酸化炭素排出量	Kg-CO ₂	1,245,960	1,243,512	99.8%	+0.2
売上高あたり	Kg-CO ₂ /百万円	2,026	2,022	99.8%	+0.2
廃棄物等総排出量	Kg	12,356	6,051	49.0%	+51.0
売上高あたり	Kg/百万円	20	10	50.0%	+50.0
廃棄物最終処分量	Kg	12,356	6,051	49.0%	+51.0
売上高あたり	Kg/百万円	20	10	50.0%	+50.0
水資源投入量	m ³	113,579	110,722	97.5%	+2.5
売上高あたり	m ³ /百万円	185	180	97.3%	+2.7
総排水量	m ³	58,209	52,000	89.3%	+10.7
売上高あたり	m ³ /百万円	95	85	89.5%	+10.5

注) 売上高は2009年度が確定していないため仮に2008年度の数字を採用している。

(2) 廃棄物等総排出量、廃棄物等最終処分量

当社の一般廃棄物の排出量は、ある程度コンスタントに出るが産業廃棄物は施設の修繕、改廃などの場合に出るが種類や数量などに大きな変動があり、今年度はまだ出ていない。そのため売上高あたりでは前年実績の約50%と大幅削減となった。

(3) 水資源投入量

当社の水資源は上水と井水があるが、総量が1.0%削減と目標設定した結果、2%台後半の範囲で削減目標を達成した。

(4) 総排水量(下水道)

当社の総排水量は、下水道で目標の3%削減は達成した。

5. 2 その他の環境目標と実績評価

項目	単位	目標	実績	実績評価 実績/目標
グリーン購入	実施率 (%)	50	46	-6 94
事業活動のインプットに関する取り組み	実施率 (%)	70	65	-7 93
事業活動のアウトプットに関する取り組み	実施率 (%)	70	74	+6 106
環境経営システムに関する取り組み	実施率 (%)	70	72	+3 103

(1) グリーン購入

- ・ コピー用紙の再生紙利用と購入量の抑制
- ・ エコマーク文房具の購入拡大

(2) 事業活動のインプットに関する取り組みの向上

① 省エネルギー、新エネルギー使用の拡大

- ・ エレベーターの夜間などの運転を停止している。
- ・ 高効率蛍光灯、インバーター照明、液晶モニターなどの照明機器の省エネルギー化に向けて進めている。液晶モニターを4月に設置した。



4月に導入した省電力液晶の利用情報モニター

- ・ ヒートポンプを導入している
- ・ 建物の雨水排水を集めて雨水利用を行っている。
- ・ 水道配管からの漏洩を定期的に検査している。

- ・ トイレ用水節減への協力呼びかけ掲示など積極的な取組み
- (3) 事業活動のアウトプットに関する取組みの向上
- ① 二酸化炭素の排出抑制、大気汚染等の防止
 - ・ 空調の適温化（冷房 28℃、暖房 20℃）を徹底している。
 - ・ 利用状況に応じた設備の運転をしている。
 - ・ 空調・冷房設備の保守点検をこまめに行っている。
 - ・ 照明の適正化、昼光の利用、スイッチの適正管理を積極的に行っている。
 - ・ 日常の管理における大気汚染防止への配慮（燃焼管理など）を行っている。
 - ・ 大気汚染について、法令による基準より厳しい自主管理基準を設定し、その達成に努めている。
 - ・ ばい煙などの測定・監視やばい煙処理設備の点検を定期的に行っている。
 - ② 化学物質対策
 - ・ 農薬使用の削減使用量の削減、合理化に取り組んでいる。
 - ③ 廃棄物の排出抑制、リサイクル、適切処理
 - ・ ゴミ分別収集の徹底と適切な 3 R 処理
 - ・ コピー用紙の使用量の抑制
 - ・ 使用済み封筒の再利用
 - ・ サイボーズによる社内回覧などによりペーパーレス化に取り組んでいる。
 - ・ 使い捨て製品の使用や購入を抑制している。
 - ・ 再使用又はリサイクルしやすい製品を優先的に購入・使用している。
 - ・ 包装・梱包の削減、再使用に取り組んでいる。
 - ・ アイドリングストップなどの運転方法の配慮を行っている。
- (4) 環境経営システムに関わる取組みの向上
- ① 環境保全のための仕組み・体制の整備
 - ・ 法規制等の最新情報を常に入手している。
 - ・ 環境経営システムを実行するにあたり、役割分担や責任、権限等が明確に定められている。
 - ・ 環境保全活動等を実行するにあたり、担当するもの、あるいは組織が明確になっている。
 - ・ 環境保全活動等を実施するにあたり、必要な人材や情報、その他の資源が用意できる体制にある。
 - ② 環境情報、社会貢献、地域の環境保全
 - ・ 地球温暖化防止ポスターなどの掲示を始めとした環境情報の掲示
 - ・ 周辺清掃活動の推進

- ・ ホームページへの積極的な情報提供

6. 環境関連法規の違反、訴訟等の有無

これまで環境関連法規の遵守状況のチェックを2回実施した。その結果は以下の通りである。

内 容	2009 年	
	6 月	10 月
法律違反の有無	無	無
訴訟の有無	無	無

7. 社会的取組み

(1) 地球温暖化防止国民運動への参加

① 参加表明

具体的な温暖化防止の行動への呼びかけを、社員、業務委託会社、イベント主催者、来場者などに社内掲示した程度で、今後さらなる取組みが必要である。

② 「チャレンジ25キャンペーン」への登録

③ 「クール・ビズ」活動への取組み

④ 「ウォーム・ビズ」活動への取組み

(2) 緑の募金への協力

自販機ではじめる森づくりに協賛し「緑の募金」に対応した自販機を設置した。

(3) 地域環境保全への協力

平成21年6月に西蔵王公園で開催された県民参加の森づくり「やまがた森の感謝祭2009」に実行委員として運営に参画し、森づくり活動にもボランティアリーダーとして積極的に参加した。

全県的な環境保全の取組みに他の企業と協調して進めることと、環境情報の受発信に対応するため山形県環境保全協議会に加入する。

(4) 清掃美化等ボランティア活動の促進・助成

① 「イルカ水泳クラブ」と長岡地区「運動公園花壇づくり」には環境ボランティア活動に対して支援している。

② 最近盛んになっている企業のCSR活動の一環としての清掃美化活動の場所に山形県総合運動公園が選ばれることがあるので、その際は積極的に利用調整などを行って、活動場

所の提供に努める。その他に悠創の丘での地域団体のボランティア清掃活動にも積極的に場所の提供を図る。